

花・緑出展

花と緑のプロフェッショナルが、庭園や花壇、生け花や盆栽、新品種・希少種など、多種多様な花・緑の作品を出展

Village 出展

カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなど、新たなグリーン社会実現に向けた企業による大規模な出展。独創的な展示や体験コンテンツを展開していただく

- | | |
|----------------|--------------|
| A. 東急グループ | G. 大和ハウスグループ |
| B. KTグループ | H. 東邦レオ 株式会社 |
| C. NTT東日本 株式会社 | I. 竹中グループ |
| D. 株式会社 大林組 | J. 住友林業 株式会社 |
| E. 三菱グループ | K. 相鉄グループ |
| F. 鹿島建設 株式会社 | L. 清水建設 株式会社 |

テーマ営業出店

テーマに合わせた展示とともに飲食等の提供を実施いただく出店形態

- | | |
|------------|---------------|
| M. JAグループ | O. 明治グループ |
| N. 株式会社 丸光 | P. ヤマザキバングループ |

特別セッション

GREEN×EXPO 2027の成功に向けて

2027年国際園芸博覧会協会事務総長

河村正人

こうむら まさと



咲くぞー！

GREEN×EXPO 2027

開催概要と準備状況

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）は、2027年3月19日、神奈川県横浜市西部の上瀬谷地区で開幕する。1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上級の国際園芸博覧会であり、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）からわずか2年後に開催される万博となる。同一国で2年の間に連続して万博が開かれるのは初めてである。大阪・関西万博のレガシーを引き継ぎ、その熱気を横浜へつなげたい。

メインテーマは「幸せを創る明日の風景」である。「園芸博覧会」という表記では、花き・園芸に限った博覧会と受け止められかねないため、あえて「グリーン」を前面に出した「GREEN×EXPO 2027」の略称を用いており、脱炭素、SDGs、生物多様性などの社会的課題の解決に向け、各企業が最新技術を用いてどのように取り組んでいるかを発表する場としても活用いただきたい。会場の最寄り駅は4駅あり、主要駅からのシャトルバスを運行するほか、約6500台分の駐車場も設ける。現在、会場の基盤整備は終盤に

入り、建物が次々に立ち上がりつつある段階である。

さむぎゃー！

GREEN×EXPO 2027

会場の見どころ

2027年は、気候変動枠組条約・生物多様性条約のターゲットイヤーである2030年の3年前にあたることから、GREEN×EXPO 2027を地球規模課題の解決に向けた世界的な取り組みを総括する機会としたい。7月には熊本県で「グローバル・ネイチャーポジティブ・サミット2026」を開催し、27カ国から多数の参加者を迎えて活発な議論が行われた。

博覧会会場には、大型の企業出展、共創によりテーマにまつわる多様な発信を行う五つのVillageを設置する（会場図参照）。食と農業、テーマ館・園芸文化館・日本政府苑など日本らしい価値観を発信するエリア、全都道府県・全政令指定都市を含む多くの自治体も参加する花・緑出展なども設ける。テーマ館では岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」の根を展示し、植物が果たす多様な機能を体感できる企画を進めている。園芸文化館では、屋上を全面緑化した建物を用い、江戸時代の

園芸文化を再認識できる展示を行う。日本政府苑では、宮内庁保存の盆栽の一部を展示するほか、「令和日本の庭」を設ける。海外出展については、2023年開催のドーハ国際園芸博覧会を参考に準備を進めており、目標である70カ国および国際機関の参加に目途が立っている。6月末には国際参加者会議を開催し、参加予定国による準備がいよいよ本格化する。

咲くぞー！
GREEN×EXPO
2027
大阪・関西万博からの
レガシー

GREEN×EXPO 2027は、大阪・関西万博とのつながりも深い。横浜市は大屋根リングの木材でベンチを製作するほか、大阪・関西万博会場の樹木を横浜へ移植する取り組みも実施している。大阪・関

Profile

1957年岐阜県生まれ。1979年東京大学法学部卒業後、建設省（現国土交通省）入省。国土交通省大臣官房審議官、住宅金融支援機構理事・副理事長、内閣官房内閣審議官兼国土強靱化推進室次長、内閣府地方創生推進事務局局長などを歴任し、2018年退官。東急不動産顧問を経て、2022年5月から現職